令和 8 (2026)年度入学者選抜小論文試験問題(後期)

各受験生は指定の問題に解答すること

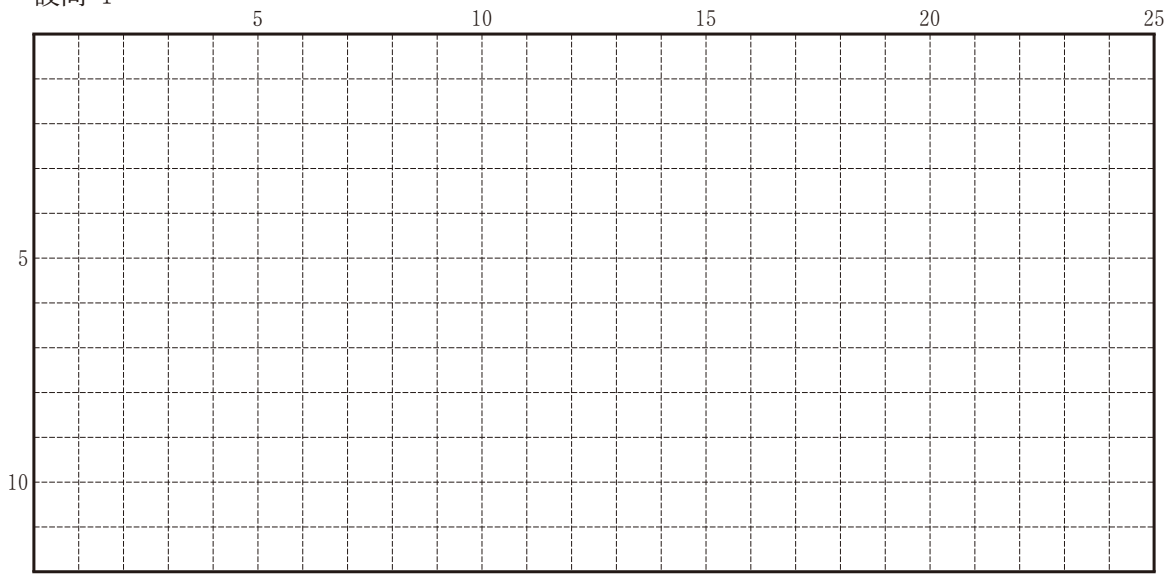
注　意　事　項

1. 監督者の指示があるまで，この冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は全部で 30 ページあり，第 1 ～ 9 ページは下書用紙です。下書用紙は切り離してはいけません。
3. 解答用紙は，問題冊子と別に印刷されているので，誤らないように注意しなさい。
4. 解答は，必ず解答用紙の指定された欄内に**横書き**で記入しなさい。
5. 各解答用紙には，受験番号欄が 4 か所ずつあります。それぞれ記入を忘れないこと。
6. 解答用紙は，記入の有無にかかわらず，机上に置き，持ち帰ってはいけません。問題冊子は持ち帰りなさい。
7. 落丁または印刷の不鮮明な箇所があれば申し出なさい。

問題 I　（後期・共通）

下　書　用　紙

設問 1

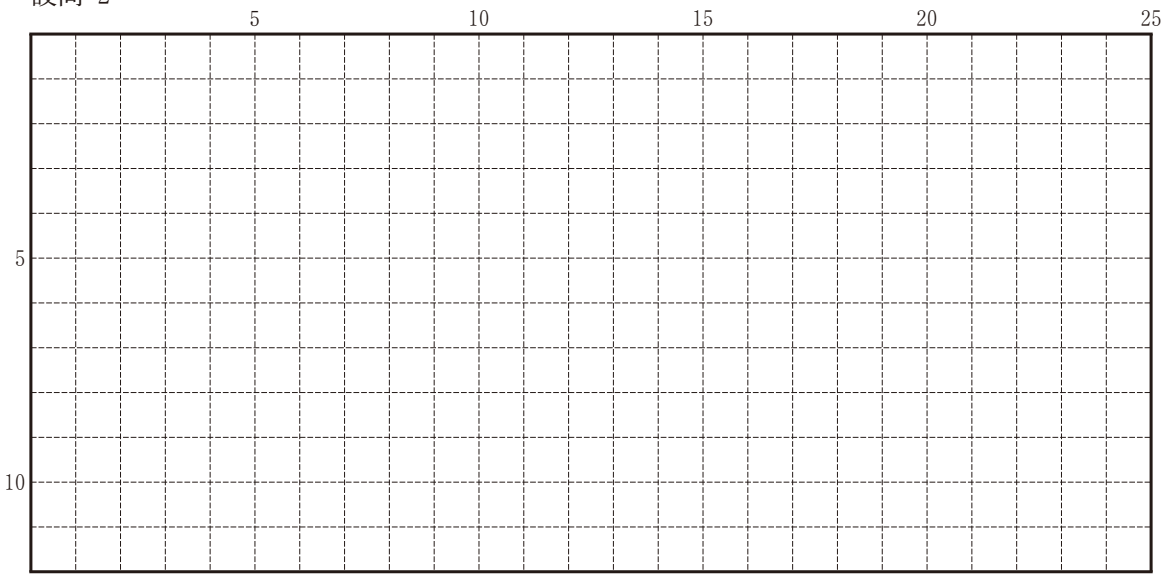


(300 字)

問題 I　（後期・共通）

下　書　用　紙

設問 2

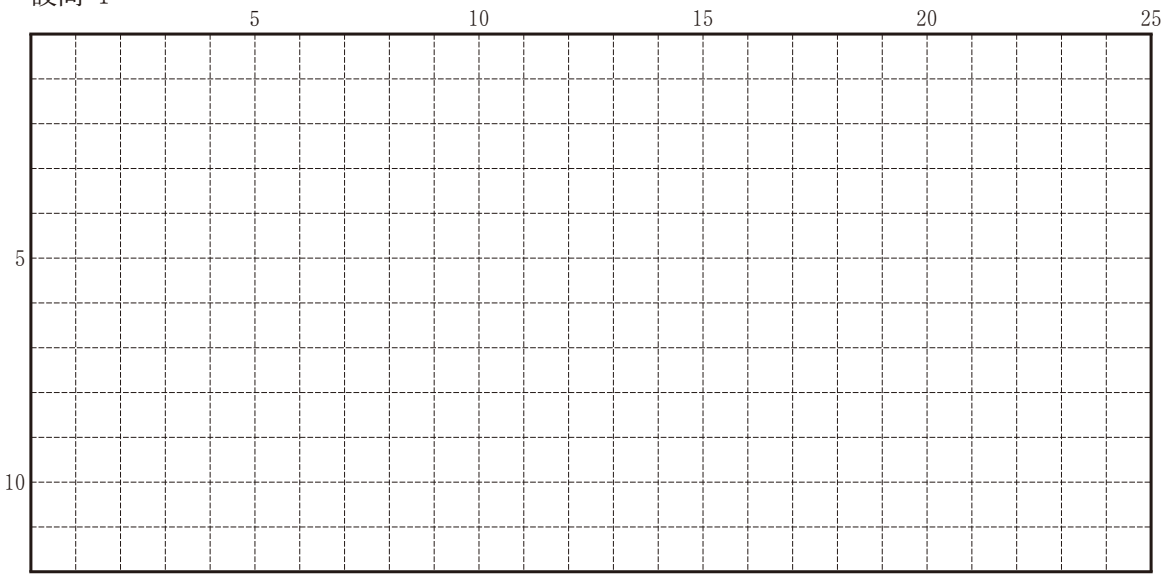


(300 字)

問題Ⅱ　（後期・医学科）

下　書　用　紙

設問 1

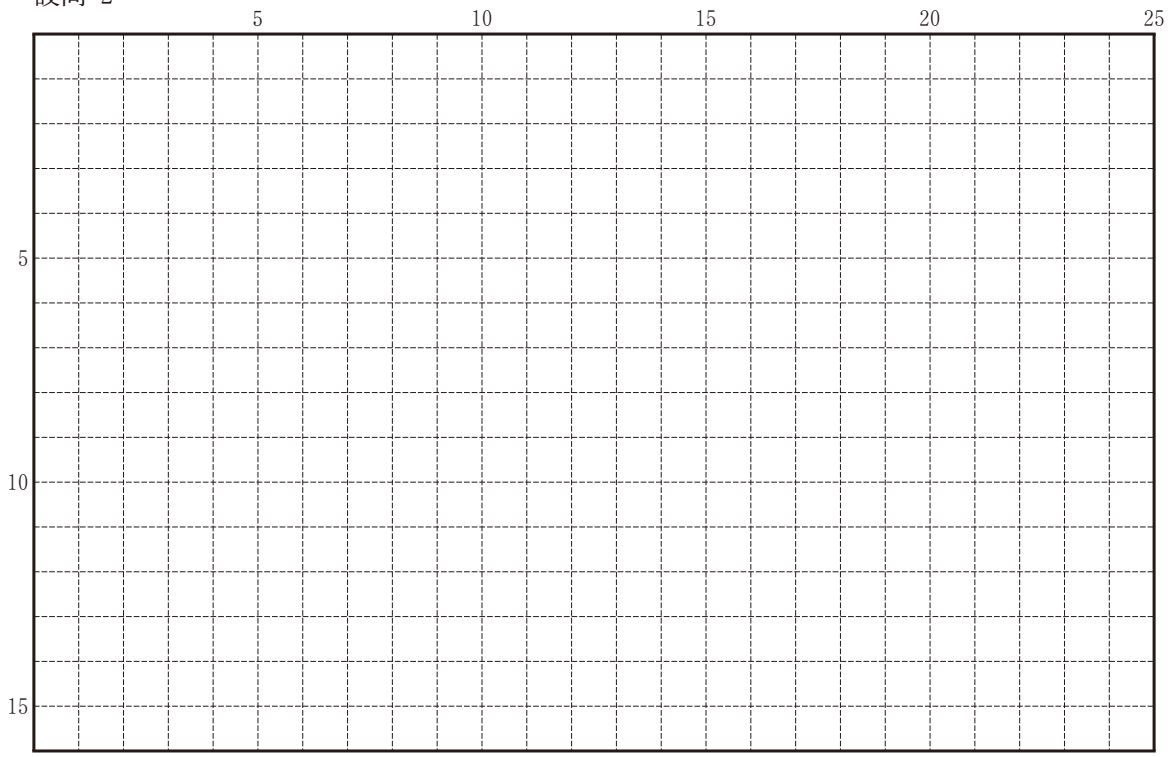


(300 字)

問題Ⅱ　（後期・医学科）

下　書　用　紙

設問 2

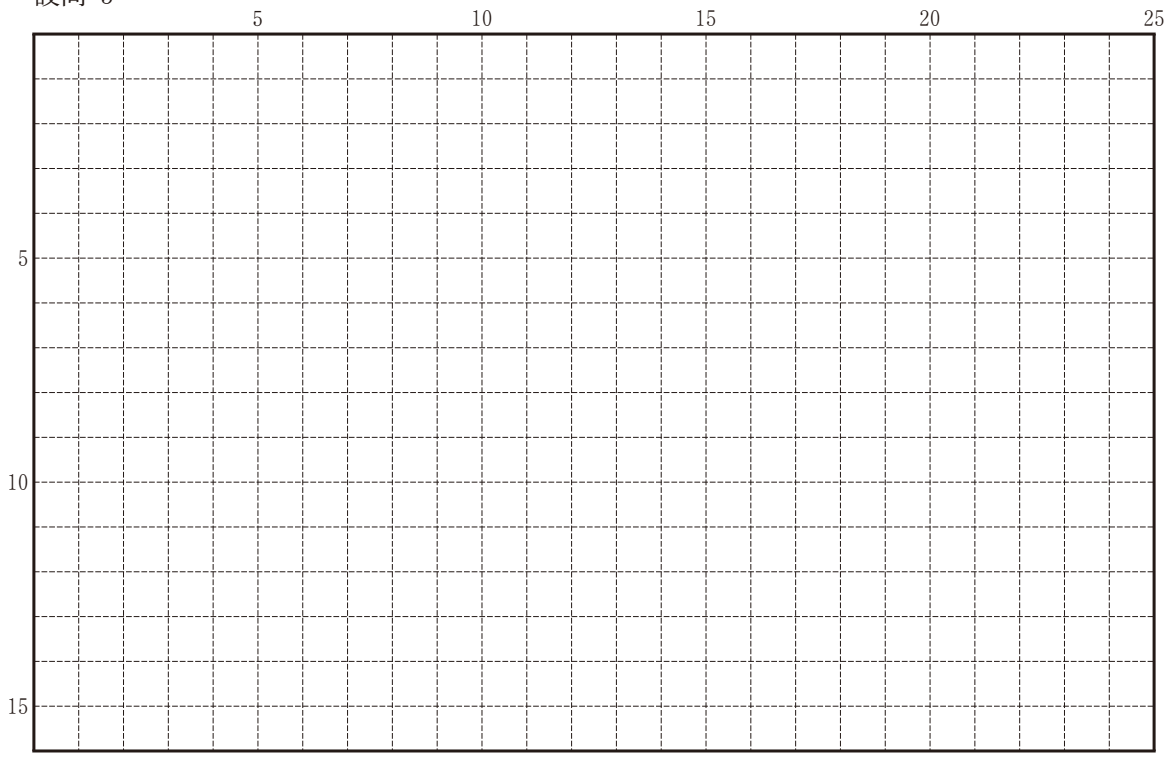


(400 字)

問題Ⅱ　（後期・医学科）

下　書　用　紙

設問 3

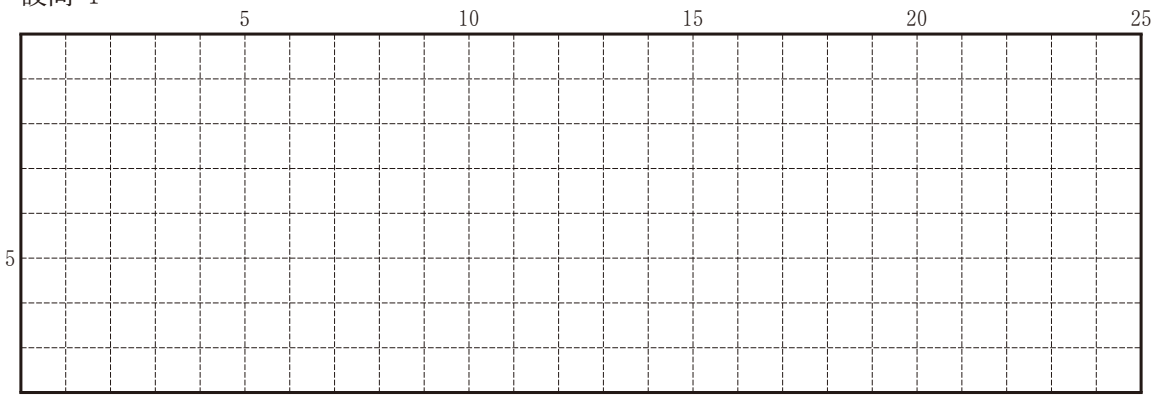


(400 字)

問題Ⅱ　（後期・歯学科）

下　書　用　紙

設問 1

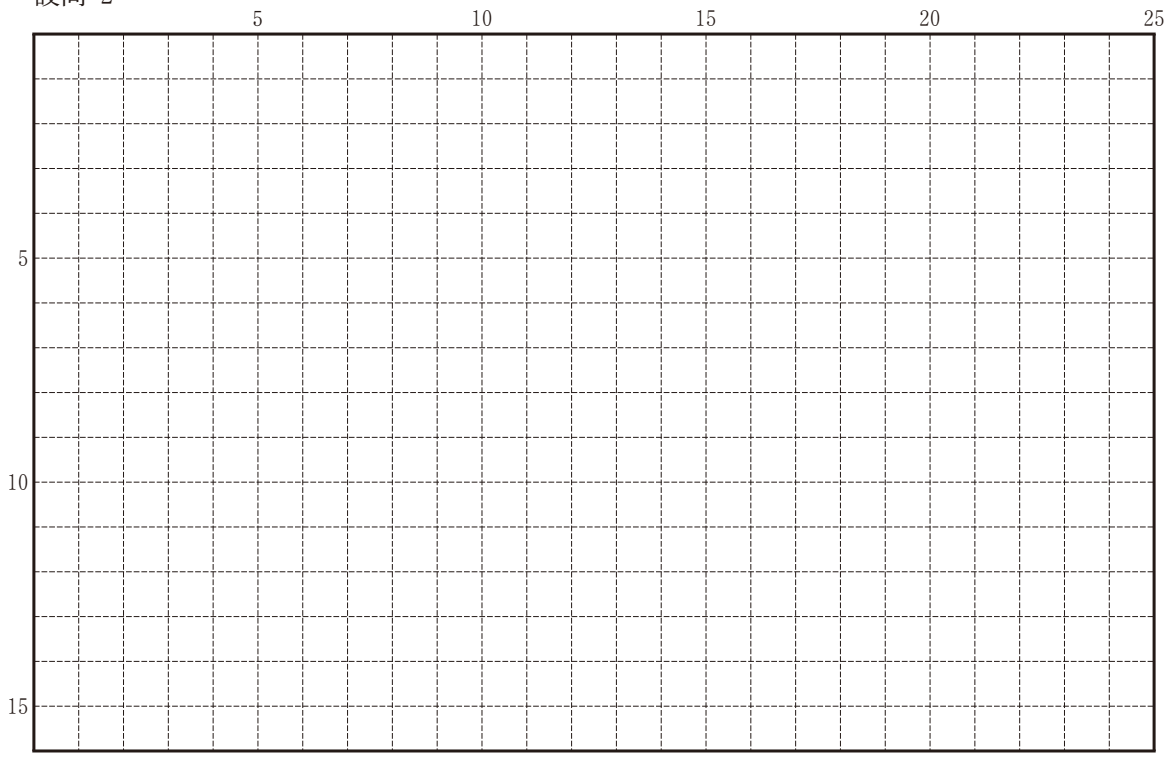


(200 字)

問題Ⅱ　（後期・歯学科）

下　書　用　紙

設問 2

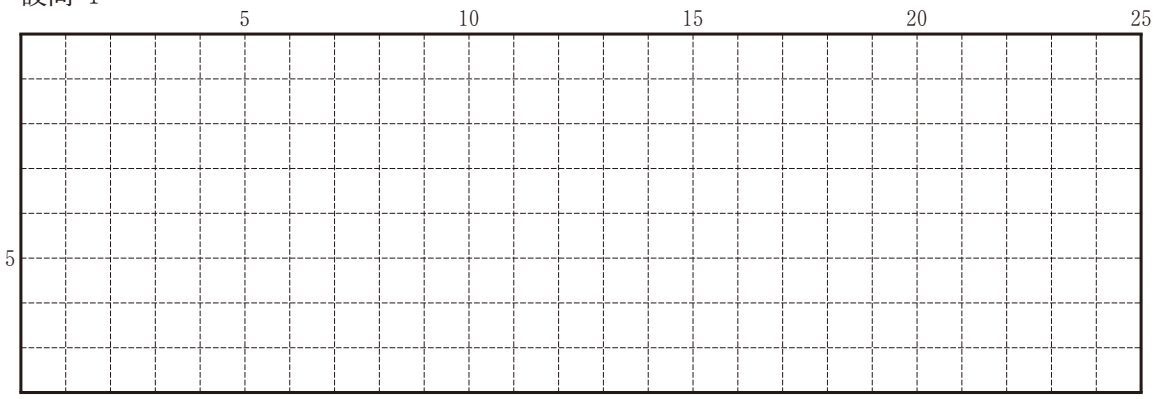


(400 字)

問題Ⅱ　（後期・保健衛生学科検査技術学専攻）

下　書　用　紙

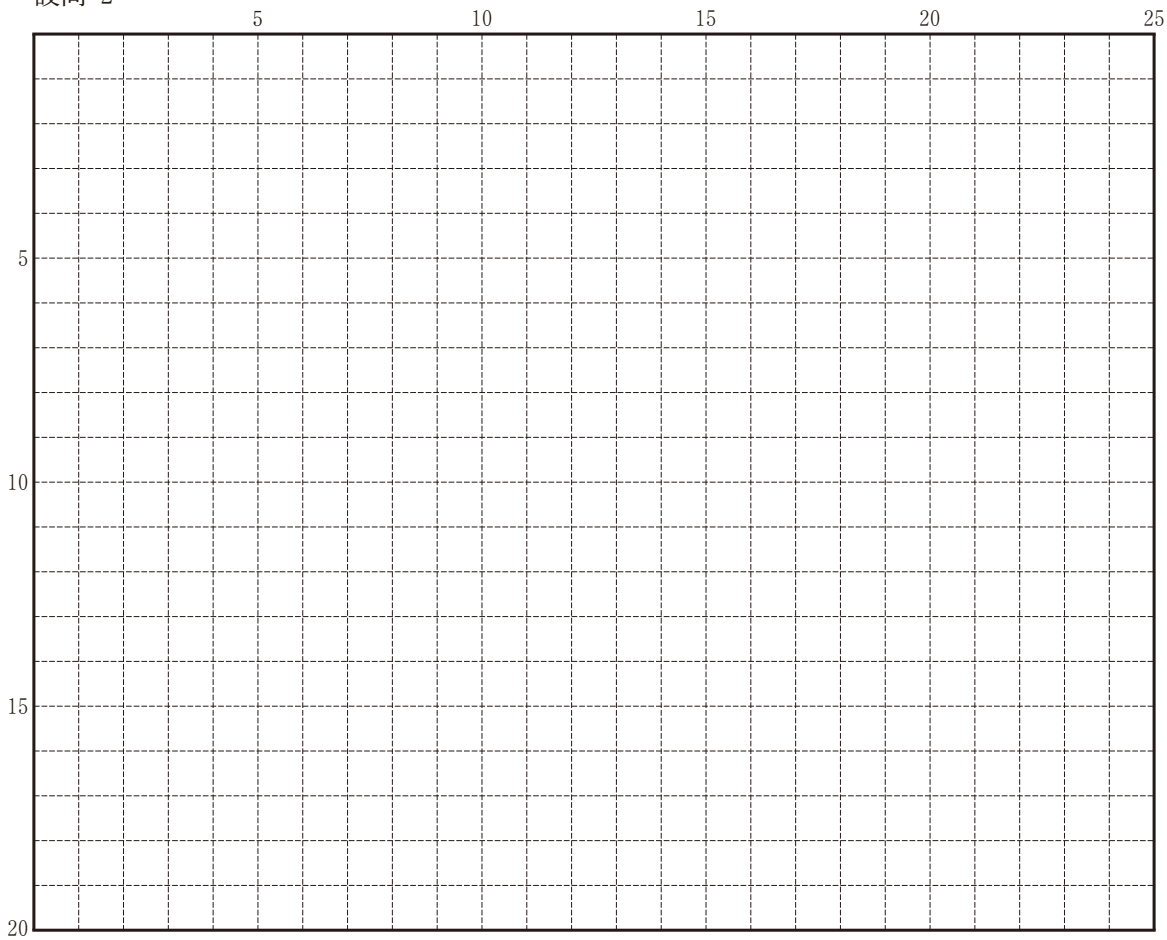
設問 1



(200 字)

下　書　用　紙

設問 2



(500 字)

問題Ⅰ（医学科・歯学科・保健衛生学科検査技術学専攻共通問題）

次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

この箇所については、著作権の都合上、公開しておりません。

この箇所については、著作権の都合上、公開しておりません。

この箇所については、著作権の都合上、公開しておりません。

この箇所については、著作権の都合上、公開しておりません。

（渡邉雅子『論理的思考とは何か』岩波書店　二〇二四年より）

設問 1

傍線部について、「法」と「社会」の領域の例をそれぞれ挙げてあなたの言葉で説明しなさい（三〇〇字以内）。

設問 2

筆者は、形式論理に基づく論理的思考だけでなく、価値観に基づいた多様な論理の存在を認めることの重要性を主張している。医療の場面で、価値観の違いがどのような影響を及ぼすかを、具体例を一つ挙げて説明しなさい。その上で医療従事者としてのあなたはどのように対応するか述べなさい（三〇〇字以内）。

問題Ⅱ　（医学科問題）

次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

この箇所については、著作権の都合上、公開しておりません。

この箇所については、著作権の都合上、公開しておりません。

この箇所については、著作権の都合上、公開しておりません。

この箇所については、著作権の都合上、公開しておりません。

この箇所については、著作権の都合上、公開しておりません。

この箇所については、著作権の都合上、公開しておりません。

この箇所については、著作権の都合上、公開しておりません。

この箇所については、著作権の都合上、
公開しておりません。

（渋沢栄一『現代語訳　論語と算盤』守屋淳訳　筑摩書房　二〇一〇年より）

設問1

傍線部①「『論語』とソロバンというかけ離れたものを一致させること」の意味を説明しなさい（三〇〇字以内）。

設問2

傍線部②「蟹は、甲羅に似せて穴を掘る」の意味を、自分自身の経験を例にして説明しなさい（四〇〇字以内）。

設問3

本文を参考に、現代の医療の道徳についてあなたの考えを述べなさい（四〇〇字以内）。

問題Ⅱ（歯学科問題）

次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

この箇所については、著作権の都合上、公開しておりません。

この箇所については、著作権の都合上、公開しておりません。

この箇所については、著作権の都合上、公開しておりません。

（村上靖彦著『客観性の落とし穴』　筑摩書房　二〇二三年より）

設問1

「人間を数値化して比較すること」の功罪について「偏差値」を例に説明しなさい（二〇〇字以内）。

設問2

「人間を数値化して比較すること」を医療に適用する際の問題点について、あなたの考えを述べなさい（四〇〇字以内）。

問題Ⅱ　（保健衛生学科検査技術学専攻問題）

次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

この箇所については、著作権の都合上、公開しておりません。

この箇所については、著作権の都合上、公開しておりません。

この箇所については、著作権の都合上、公開しておりません。

この箇所については、著作権の都合上、
公開しておりません。

（大井玄著『「痴呆老人」は何を見ているか』新潮社　二〇〇八年より）

※原文の表現に依拠している。

設問1

文中で述べられている「コミュニケーションの二種類の型」について、説明しなさい（二〇〇字以内）。

設問2

本文を踏まえ、人への挨拶とコミュニケーションの成立について、あなたの考えを経験を基に述べなさい（五〇〇字以内）。